

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、引き続きレアルの買戻しが優勢の展開。一時3.78台後半までレアル安が進行する時間帯も見られたが、その後すぐに反転し、3.72台前半まで急伸。最終的には3.76台半ばで取引を終えた。8日に公表されたFOMC議事録において、「米経済は利上げ開始が正当化される状況に近づいているものの、景気下振れリスクが顕在化するかを見極める上でより多くの情報を得るために様子見することが適切」との意向が確認されたことが、レアルを含む新興国通貨のサポート材料となっている(なお、アトランタ連銀のロックハート総裁は、「今年のいずれかの時点で金利の正常化をスタートさせる条件を満たすとの考えを維持している」と述べた他、「今年のいずれかの時点とは10月か12月の会合を意味しているが、どちらの会合になるかは分からぬ」との見解を示している)。

レアル安に一旦落ち着きが見える中、トニビニ中銀総裁は、「通貨安は金融政策の運営に課題をもたらしているが、短期的なマーケットの動きには過剰反応しない」と発言。レアル安に由来するインフレ圧力を抑制するために中銀が利上げを行うとの観測には同調しないことを改めて強調した他、インフレ率を中銀目標の中央値である4.5%に引き下げるために長期に亘り現在の政策金利を据え置く方針を示した。9月IPCAは前年比9.49%と、8月から小幅鈍化したものの、インフレ率は依然として高値圏で推移している。

マーケットデータ

Indicator	Unit	10月9日	10月12日	前日比	9月11日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,7633	+0,0000	3,8708	-0,1075
	対円	JPY	31,97	-0,07	31,16	+0,74
	対ユーロ	BRL	4,2723	+0,0000	4,3889	-0,1166
円	対ドル	JPY	120,27	-0,2300	120,59	-0,5500
	対ユーロ	JPY	136,61	-0,27	136,72	-0,38
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	49.338	49.338	+0	46.401	+2.937
CDS Brazil 5yrs (クレジット・フルストップ)	bps	410,8	415,8	+5,0	395,3	+20,5
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	15,65	15,65	+0,00	15,27	+0,38
DI Future Jan17 (金利先物)	%	15,56	15,56	+0,00	15,15	+0,41
3 Months US Dollar Libor	%	0,321	0,321	+0,000	0,337	-0,016
CRB Index (国際商品指数)	Index	202,7	199,7	-3,0	196,7	+3,0

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

